

ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護④『血液／アレルギー・膠原病／感染症』は、多くの看護学生・看護教員の方々から好評をいただき、第2版を重ねることになりました。

本書の該当疾患は、呼吸器、循環器などの臓器別の疾患体系とは異なり、多彩な症状や病態の全身への波及など、学生には理解しにくい分野です。本書は、初版と同様に理解のしやすさに焦点を置き、初版で採用した以下の工夫を踏襲しました。

第1に見開きの図解ページで、短時間で全体像をつかめるようにしています。

第2に「詳しくすぎず・簡略すぎない」内容を心掛けました。用語の説明やトピックスは、欄外に用語解説、plus α として記載したことで、重要な部分をスピード感をもって学習できるようにしています。

第3に図を多用し視覚からの情報を重視しました。目的とするページが探しやすいことにもつながっています。

第4に医師と看護師両方の視点を盛り込みました。基本的な医学的知識を効率良く理解したうえで、臨床現場に出たときの個別の注意事項なども学習できるようにしました。

第5に章末の「臨床場面で考えてみよう」という質問形式のコーナーでは、知識の確認ができます。また、ここを先に読んでから本文に戻って確認・復習するという学習方法も可能です。

第2版では、初版の執筆者に加え、現在第一線で活躍されている医師と看護師・看護教員に執筆をお願いしました。最新のガイドライン等に基づくアップデートのみならず、血栓傾向、造血器腫瘍に対する免疫療法、ラテックスアレルギーなどその他のアレルギーの内容を充実させました。感染症の各論には12種類の疾患を追加しています。また、動画では「検査」の項目、巻末には資料を追加し、本書全体を通して2025年3月に改訂された「看護学教育モデル・コア・カリキュラム」にも対応しています。本書がさらに使いやすくなったことで、本書を手にとられた学生や教員の方々の学習・教育がますます効率良くなり、充実していくことを願っています。

「ナーシング・グラフィカ EX」シリーズの一冊として、本書を改訂する機会が得られたことを編著者一同喜んでいきます。関係の皆様に深謝します。

薊 隆文
矢野久子